

とめNNだより

令和3年1月発行
第22号

「とめNNだより」は、農業農村整備部(通称 NN 部)の広報広聴活動の一環として、登米管内の農業農村整備事業に関連する活動を広くお知らせする目的で、年4回発行を予定しております。掲載内容についてお問い合わせ等ありましたら、管理調整班までご連絡ください。

【東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部広報広聴委員会】

■「特定家畜伝染病の発生時における埋却演習」を実施しました！

令和2年11月11日に、宮城県建設業協会登米支部と登米地域事務所主催による「特定家畜伝染病の発生時における埋却演習」を開催しました。この演習は、豚熱等の特定家畜伝染病の発生時に円滑な埋却作業を行う目的で、平成29年度から開催しており、今年で4回目となります。

埋却演習は、登米市東和町の(株)日進運輸建設様の社用地を会場として行われ、県建設業協会登米支部の会員20社のほか石巻支部及び気仙沼支部の会員18社、県及び市、JA、県畜産協会の職員など約130名が参加しました。

演習では、防護服着衣演習から埋却演習まで一連の流れを確認しました。また、今年度から初めての取組みとして、防疫フェンスの設置演習を行いました。

今年9月には、福島県会津若松市で死亡した野生イノシシ1頭で豚熱の陽性が確認されており、宮城県でも、豚熱対策として、10月から宮城県全域の養豚場153農場、約20万頭を対象にワクチン接種を開始しております。

県登米地域事務所では、万が一、特定家畜伝染病が発生した場合は、埋却作業が円滑に進むよう、県建設業協会登米支部をはじめ各関係機関と協力して対応してまいります。



▲県登米地域事務所吉田所長よりあいさつ



▲着衣演習の状況



▲埋却(シートの投げ入れ、覆い状況)



▲防疫フェンス(組立状況)

■令和元年度台風19号で被災した5機場の災害復旧工事が完了しました

令和元年10月に発生した台風19号により被災した登米市津山町内の5機場（締切沼第2排水機場，締切沼B揚水機場，締切沼C揚水機場，北沢揚水機場，高谷地沼田揚水機場）の災害復旧工事が完了しました。登米管内では台風19号の暴風雨により，農地農業用施設66か所が被災し，被害額は約6億5千万円に及びました。このうち当部では，特に被害の大きかった津山町内の5機場の災害復旧工事を登米市の要請を受け，県営事業として対応しました。

5機場は，暴風雨により機場全体が浸水，ポンプ設備や電気設備等が使用不能な状態となり，翌年の作付けまでの稼働が難しい状況となりました。当部では，関係機関と連携し，復旧作業を進め，令和2年4月までに，ポンプ設備・電気設備を復旧し，約52haの水田で例年どおりの作付けを実現することが出来ました。このほか，ネットフェンス等の復旧を行い，令和2年9月下旬に全工事が完了しました。

今回の災害復旧工事では，機場の浸水対策として，電気設備を高所に設置する構造としています。こうした対策により，農村地域の生命や財産を守り，今後の災害に備えることが可能となります。



▲被災状況（赤線部分まで浸水しました）



▲復旧後

■「インフラ長寿命化計画個別施設計画策定に係る現地調査」を実施しています

令和2年10月から随時，「インフラ長寿命化計画個別施設計画策定」のため，施設管理者の皆さんと農業用排水路の現地調査を行っています。「インフラ長寿命化計画」とは，全国のインフラの安全性向上と効率的な維持管理を実現するため国が定めた計画であり，この一環として，基幹的農業水利施設において，「個別施設計画（機能診断による状態把握，対策工の策定等）」を作成することとされ，当管内は，機場41か所，水路等29路線，樋管2箇所が対象施設となっています。

今年度は水路を主として現地調査を行っていますが，隧道やフリーム，連結平板ブロック水路等の踏査を行った結果，通水に大きな支障はないものの，部分的に，コンクリートのひび割れや目地の開き，ブロックのはらみ出し等，経年劣化の進行が確認されました。機場のみならず，水路においても機能診断・長寿命化対策が重要であり，今後各機関で情報共有を図っていきたいと思います。



▲調査状況（隧道）



▲調査状況（連結平板ブロック）

■令和2年度加工用馬鈴薯実績検討会に出席しました！

令和2年11月26日（木）、JAみやぎ登米ばれいしょ生産者主催の令和2年度加工用馬鈴薯実績検討会に参加しました。

カルビーポテト（株）から講師を迎えて登米管内のばれいしょ作付け結果及び振り返りを行いました。水田でのばれいしょ栽培は暗渠排水や明渠などの排水対策の徹底により安定収量が見込まれるとのことでした。カルビーポテト（株）では、今後もばれいしょの栽培面積拡大を進めて欲しいとのことでした。現在、ほ場整備事業採択に向け高収益作物の選定が課題となっている地域のほ場整備事業地区推進委員、関係改良区も参加しておりました。

今回の研修を受けて、ほ場整備事業推進に向けての取り組み支援を行っていきます。



▲検討会の様子（会場（登米市米山町）にて）

■農業用水利施設を分かりやすく紹介！「水土里の潤いカード」を作成しました！

農業水利施設は、農産物を生産するために必要な農業用水を流す目的のほかに、防火用水や生態系保全・親水機能などの幅広い役割を果たしています。また、昨今は気候変動に伴い集中豪雨が頻発するなど、農業水利施設の果たす防災的な役割も重要性を増してきています。

県農村振興課では、こうした役割を持つ県内各地の農業水利施設を、「水土里の潤いカード」として月に一度のペースで分かりやすく紹介する企画を行っています。

当部管内からは、五ヶ村堀排水機場（第2弾）を発行しています。ぜひご覧ください。

農村振興課ホームページは [こちら](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/midori_uruoi.html)

〈https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/midori_uruoi.html〉



五ヶ村堀排水機場概要	
所在地	宮城県登米市
河川名	北上川水系迫川
形式	横軸斜流ポンプ 口径 1,650mm × 3台
着工/完成	平成26年/令和2年
排水量	18m ³ /s
登米市中田町を中心に、北上川右岸に開けた約2,100haの平坦な水田地帯の排水を担う、 県営事業で整備された基幹排水施設。	
位置情報	

▲水土里の潤いカード

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部 広報広聴委員会（編集:管理調整班）

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼 150-5

Tel : 0220-22-5169

Fax : 0220-22-6015

～復興へ 頑張ろう！みやぎ～

E-mail : et-tmnbkt@pref.miyagi.lg.jp

URL : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-ns/>